

## 総括質疑並びに一般質問

【質問日】令和8年3月4日（水）

### 【個人質問】

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
9	犬 井 美 香	<p>1 地域包括ケアシステムの再構築について</p> <p>(1) 本市の地域包括ケアシステムが目指す姿はどのようなものか。</p> <p>(2) 本市におけるACPの取組の現状について、市はどのように把握し、評価しているか。また、行政としての関わりはどのようなものか。</p> <p>(3) 地域包括ケアシステムの中で、本人の意思や価値観を早期から把握し支援に反映する仕組みについて、本市の現状と課題は</p> <p>(4) ACPで確認された本人の意思を医療・介護・福祉の現場で共有し、人生の最終段階まで切れ目なく支える多職種連携について、市の認識と役割を伺う。</p> <p>(5) 本人の望む最期を迎えることは、医療だけの話ではなく、尊厳の問題である。在宅看取り支援や地域支援体制を政策として強化する具体的な行程を示す考えはあるか。</p> <p>(6) 地域包括ケアの標準プロセスとしてACPを組み込む考えはないか。</p> <p>(7) 本市の理念として本人の意思を軸に支えるまちづくりを明確に掲げることがこれからの自治体に求められていると考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>2 人口減少社会における地区コミュニティ協議会の在り方について</p> <p>(1) 人口減少社会において、住民自治の重要性はこれまで以上に高まっていると考えるが、市としての基本認識を伺う。</p> <p>(2) 人口減少と高齢化が進む本市の地域運営の今後をどのように考えるか。</p> <p>(3) 地区コミュニティ協議会を、行事中心の運営から地域課題解決型の組織へ発展させていく必要があると考えるが、市の見解は</p> <p>(4) 自治会加入の有無に関わらず、緩やかに地域とつながれる仕組みづくりの必要性を感じる。過去3年間の自治会加入率と市の見解を伺う。</p> <p>(5) 地区コミュニティ協議会の持続性を高めるための財源や、人材支援の在り方への課題認識は</p> <p>(6) 人口減少時代における住民自治の将来像について、本市はどのような地域社会を目指していくのか、市長の考えを伺う。</p>
10	山 中 真 由 美	<p>1 令和8年度当初予算案について</p> <p>(1) 経常収支比率の高止まりと財政健全化について</p> <p>ア 義務的経費の増大の現状をどのように認識しているか。</p> <p>イ 特に扶助費の今後の伸長率をどのように予測するか。</p> <p>ウ 物件費が人件費と同水準となっているが、要因の分析を伺う。</p> <p>エ これまで実施してきたDX推進や業務効率化による具体的な経費削減はどこに現れているか、その実効性を伺う。</p> <p>オ 経常的な支出が財源を圧迫し、投資的経費や新規事業の余力を奪っている財政の硬直化に対する市の見解を伺う。</p> <p>カ 経常収支比率について、本市として維持・達成すべき具体的な数値目標を設定しているのか。</p>

		<p>(2) 扶助費の増大と適正化の取組について</p> <p>ア 生活保護費等における不正受給防止や適正な受給管理は</p> <p>イ 保育所運営費について、今後の少子化を見据えた定員適正化のロードマップはあるのか。</p> <p>ウ 後期高齢者医療対策費について、予防医療推進による将来的な負担軽減戦略はどうか。</p> <p>エ 各種サービス維持のため、市独自の助成事業における所得の導入や利用者負担の見直しは検討されないか。</p> <p>(3) 公共施設整備と将来の維持管理コストについて</p> <p>ア 薩摩川内市公共施設等総合管理計画と各個別計画の優先順位は厳密に合致しているか。</p> <p>イ 令和8年度整備予定の長浜地区コミュニティセンターについて、以降30年間のライフサイクルコストの試算は</p> <p>ウ 市有施設の新設に当たっては、施設総量の削減の検討をしたのか。</p> <p>エ 歳入で発行する市債が、将来公債費負担比率に反映されるリスクをどう評価するか。</p> <p>(4) 財政調整基金の取崩しと積み立ての整合性について</p> <p>ア 構造的な収支不足に陥っている認識は</p> <p>イ 歳出に積立金を計上しているが、なぜ繰入金に回し基金残高の減少を食い止めなかったか。</p> <p>ウ 本予算執行後の財政調整基金の残高見込みと最低限の保有水準は</p> <p>エ 基金が底をつくリスクをどう評価しているか。また、今後の歳入確保の見解は</p> <p>(5) ふるさと納税関連経費の費用対効果について</p> <p>ア 本市の手元に残る実質的な政策財源の試算はいくらか。</p> <p>イ 具体的にどのような業務委託として支出されるのか。</p> <p>ウ 返礼品を通じた市内業者への経済波及効果を数値として把握しているか。</p> <p>エ 寄附金の使途について、政策的成果や透明性を持って報告できているか。</p> <p>2 カーボンニュートラルと循環型社会の推進について</p> <p>(1) サーキュラー都市地域ブランディング事業の費用対効果は</p> <p>(2) 粗大ごみ資源化事業の投資妥当性と今後の展開を問う。</p> <p>(3) 今後、これらの実証事業が本格化する際、既存の廃棄物処理経費をどの程度削減できる見込みか。</p> <p>3 川内港唐浜地区の国際物流ターミナル整備と暫定供用開始について</p> <p>(1) 川内港が荷主や船会社を選ばれるためのキラークンテンツは何か。</p> <p>(2) CNPとしての付加価値向上や港湾物流をどう描いているのか。</p> <p>(3) 大型プロジェクトが市民の豊かさにどう直結するのか、市長の見解を伺う。</p>
11	井上 勝博	<p>1 AIデータセンター計画に関する行政判断と説明責任について</p> <p>(1) 本市は、350メガワット規模の受電容量が地域環境に与える影響を独自に評価できる体制を有しているか。</p> <p>(2) 環境許容性の判断基準があるか。</p> <p>(3) 重大な影響が判明した場合、事業見直しの可能性を排除していないか。</p> <p>(4) 市主導による市民説明会を開催する考えはあるか。</p>

		<p>2 原子力防災における要支援者避難の実効性について</p> <p>(1) 単独避難困難者78人分の個別避難計画は全て策定済みか。</p> <p>(2) 搬送開始から全員の搬送完了までに要する時間の試算はあるか。</p> <p>(3) 実動訓練及び複合災害想定を検証は行っているか。</p> <p>(4) 今年度中の改善方針を示せ。</p> <p>3 百次住宅の居住環境と健康リスクについて</p> <p>(1) 2階住戸の室温の実測確認を行ったか。</p> <p>(2) 断熱仕様は現行基準と比較してどの水準か。</p> <p>(3) 健康リスクに対する改善措置を講じる考えはあるか。</p> <p>4 人工内耳紛失時の支援制度について</p> <p>(1) 人工内耳が生活・学習に不可欠であるとの認識はあるか。</p> <p>(2) 日常生活用具給付対象への追加を検討しているか。</p> <p>(3) 結論を出す時期の目安を示せ。</p>
12	福田俊一郎	<p>1 小学校給食費無償化事業に係る諸課題について</p> <p>(1) 小学校給食費無償化事業では、国及び県がそれぞれ2分の1ずつ、1億3,885万3千円を負担し、さらに一般会計から3,155万8千円が支出される予定である。一般会計からの支出について、具体的な事業内容及び内訳を伺う。</p> <p>(2) 無償化の実務を担う各学校給食会に対し、負担軽減補助金を交付するに当たり、食材の調達過程の透明性確保や価格の妥当性の検証、さらには会計処理及び監査体制をどのように強化するのか、市の具体的な取組について伺う。</p> <p>(3) これまでの学校給食費の滞納状況について</p> <p>ア 市立小学校・中学校・幼稚園別に、滞納金額及び件数を伺う。</p> <p>イ 滞納徴収に向けたこれまでの具体的な取組内容を伺う。</p> <p>ウ 債務者の時効の援用により消滅した金額について伺う。</p> <p>(4) 小学校給食費無償化後、滞納のままとなっている給食費の取扱いは</p> <p>(5) 本市は、総合計画において、学校給食費の公会計化を検討するとしている。小学校給食費無償化の実施に伴い、公会計に向けた具体的な取組をどのように進めるか、その方向性を伺う。</p> <p>2 防災行政無線システム更新事業について</p> <p>(1) 今年度予算案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業は継続費として、令和8年度から令和10年度までの3箇年事業とされ、年割額に係る市債の合計は17億3,647万3千円が計上されている。これだけ多額の予算を投じる本事業の具体的な内容、整備範囲、更新対象、導入機能などについて、3箇年の全体像を含めて伺う。</li> </ul> <p>(2) 市債による財源措置について</p> <p>ア 本事業は令和6年度から開始され、実施計画では令和14年度を事業完了予定としている。事業期間全体を通じた総事業費はいくらになるのか。</p> <p>イ 令和6年度から令和8年度当初予算案まで、事業費のほぼ全額を市債で賄う計画となっているが、市債で賄う理由は何か。</p> <p>ウ 将来世代への負担金という観点も含め、財源構成の考え方を伺う。</p> <p>(3) 継続費としての予算提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業は大規模かつ長期にわたる事業であり、通常であれば債務負担行為により総事業費を明示する手法も考えられる。この事業が債務負担</li> </ul>

		<p>行為ではなく継続費として予算提案されている理由について、制度上及び財政運営上の考え方を伺う。</p> <p>(4) 令和6年度及び令和7年度事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度当初予算では、継続費として令和6年度分及び令和7年度分の年割額が示された。しかし、令和7年度予算では、当初計画で示された令和7年度分の年割額を大きく上回る予算が計上された。当初見込みから増額となった理由は何か。また、令和6年度及び令和7年度に実施した具体的な事業内容について伺う。</li> </ul> <p>(5) ランニングコストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期投資が多額になる中で、最新システムの運営により将来の維持管理費を抑制できるのか。</li> </ul> <p>(6) 多額の投資による事業効果について</p> <p>ア 本事業により、屋外・屋内・市外滞在時を含め、市民の安心・安全や防災力の向上にどのような効果が期待できるのか。</p> <p>イ スマートフォンの普及が進む中、アプリやSNSなどのデジタル媒体との連携を含め、より効果的な情報伝達体制の構築が図られるのか。</p> <p>ウ 防災行政無線の更新が、時代に即した総合的な防災情報システムへと発展するものとなるのか。</p> <p>3 利子割交付金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の200万円から2千万円へと、10倍の大幅な増額となっている。国県の経済予測及び国内金利の動向を注視し、今後の分配増を慎重に見積もったものと認識している。この増額の要因について伺うとともに、増額分を含め当該交付金をどの事業に充当しているのか。</li> </ul> <p>4 環境性能割交付金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の2千万円から300万円へと、1,700万円の減額となっている。環境性能割は、自動車取得時の税負担に応じて自治体へ交付されるものであると認識しているが、今回これほど大幅に減額となった理由は何か。税制改正などによる配分方法の見直しによるものなのか、それとも制度そのものが将来的に廃止・縮小される方向にあるのか、見通しも含めて伺う。</li> </ul>
--	--	--